

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

西春日井店及び岡崎店における  
売場空調機器更新による省エネ事業

排出削減事業者名：日本トイザラス株式会社

排出削減事業共同実施者名：環境経済株式会社

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	日本トイザラス株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名①	トイザラス 西春日井店
住所①	愛知県西春日井郡豊山町大字豊場字大山 139-17
事業所名②	トイザラス・ベビーザラス 岡崎店
住所②	愛知県岡崎市大平町石丸 38 ワールド・ワン 2F
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	環境経済株式会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

西春日井店及び岡崎店における売場空調機器更新による省エネ事業

### 2.2 排出削減事業の目的

売場内の空調機器（西春日井店のガスヒートポンプ（GHP）及び岡崎店の吸収式冷温水発生機）を機器効率の良い機器へ更新し省エネルギー並びに CO2 排出削減を図る。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存空調機器を高効率のガスヒートポンプ及び吸収式冷温水発生機に更新することにより、機器効率を改善してエネルギー消費量を削減、CO2 排出量を削減する。

### 2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	■はい
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	■はい

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

代表者名の変更

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2008年12月1日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2016年11月30日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
004	空調設備の更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
空調設備 (西春日井店)	営業時間 (時間)	事業実施前燃料使用量 (千 m <sup>3</sup> )
		営業時間 (h)
空調設備 (岡崎店)	営業時間 (時間)	事業実施前燃料使用量 (千 m <sup>3</sup> )
		営業時間 (h)

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

以下の理由により、「営業時間」を活動量として採用した。

- ・設備更新の前後で売場面積の広さに変更がなく、空調設備における燃料消費量に最も大きく影響する要因は営業時間と判断できる
- ・営業時間を計測可能である

#### 4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

本事業の範囲は、更新される空調設備及び当該空調設備により空調が行われる範囲 (西春日井店及び岡崎店の売場) である。

## 5 モニタリング対象指標

### ①西春日井店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法 根拠資料	(モニタリング方法に 変更ある場合) 変更理 由
M-1	事業実施前の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房：38.8 暖房：2.5	計測	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量 事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm3	(2013 年度) 44.0 (2014 年度以降) 46.4	デフォルト値	
M-3	事業実施前の活動量（冷房期） 事業実施前の活動量（暖房期）	h/年	冷房：2140 暖房：1510	計測	冷房期と暖房期 が反転し誤記と 思われるため修 正した。
M-4	事業実施後の活動量（冷房期） 事業実施後の活動量（暖房期）	h/年	冷房 (2013 年度) 2200 (2014 年度) 2140 (2015 年度) 2140 (2016 年度) 2140 暖房 (2013 年度) 1537 (2014 年度) 1510 (2015 年度) 1520 (2016 年度) 300	計測	
M-5	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素 排出係数	t-CO2/GJ	(2013 年度) 0.517 (2014 年度以降) 0.517	デフォルト値	

M-6	事業実施後の燃料使用量	千 Nm <sup>3</sup> /年	冷房 (2013 年度) 23.5 (2014 年度) 22.1 (2015 年度) 21.8 (2016 年度) 24.2 暖房 (2013 年度) 1.2 (2014 年度) 2.3 (2015 年度) 2.0 (2016 年度) 0.2	計測	
-----	-------------	----------------------	--	----	--

②岡崎店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合) 変更理由
M-1	事業実施前の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房：73.5 暖房：16.5	計測	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量 事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm3	(2013 年度) 44.0 (2014 年度以降) 46.4	デフォルト値	
M-3	事業実施前の活動量 (冷房期) 事業実施前の活動量 (暖房期)	h/年	冷房：2140 暖房：1510	計測	冷房期と暖房期が反転し誤記と思われるため修正した。
M-4	事業実施後の活動量 (冷房期) 事業実施後の活動量 (暖房期)	h/年	冷房 (2013 年度) 2140 (2014 年度) 2140 (2015 年度) 2140 (2016 年度) 2140 暖房 (2013 年度) 1510 (2014 年度) 1510 (2015 年度) 1520 (2016 年度) 300	計測	
M-5	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t-CO2/GJ	(2013 年度) 0.517 (2014 年度以降) 0.517	デフォルト値	
M-6	事業実施後の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房 (2013 年度) 56.7	計測	

			(2014年度) 48.4		
			(2015年度) 51.2		
			(2016年度) 65.8		
			暖房		
			(2013年度) 5.6		
			(2014年度) 11.6		
			(2015年度) 13.3		
			(2016年度) 4.1		

## 7 排出削減量の計算

### 7.1 西春日井店

#### 7.1.1 事業実施後排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm <sup>3</sup> ]	単位発熱量 [GJ/千 Nm <sup>3</sup> ]	排出係数 [t-CO <sub>2</sub> /GJ]	CO <sub>2</sub> 排出量 [t-CO <sub>2</sub> ]
冷房 (2013 年度)	2,200	23.5	44	0.0517	53.5
冷房 (2014 年度)	2,140	22.1	46.4	0.0517	53.0
冷房 (2015 年度)	2,140	21.8	46.4	0.0517	52.3
冷房 (2016 年度)	2,140	24.2	46.4	0.0517	58.1
暖房 (2013 年度)	1,537	1.2	44	0.0517	2.7
暖房 (2014 年度)	1,510	2.3	46.4	0.0517	5.5
暖房 (2015 年度)	1,520	2.0	46.4	0.0517	4.8
暖房 (2016 年度)	300	0.2	46.4	0.0517	0.5
EMPj		97.3			230.4

#### 7.1.2 ベースライン排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm <sup>3</sup> ]	単位発熱量 [GJ/千 Nm <sup>3</sup> ]	排出係数 [t-CO <sub>2</sub> /GJ]	CO <sub>2</sub> 排出量 [t-CO <sub>2</sub> ]
冷房 (2013 年度)	2,140	39.9	44	0.0517	90.8
冷房 (2014 年度)	2,140	38.8	46.4	0.0517	93.1
冷房 (2015 年度)	2,140	38.8	46.4	0.0517	93.1
冷房 (2016 年度)	2,140	38.8	46.4	0.0517	93.1
暖房 (2013 年度)	1,510	2.5	44	0.0517	5.7
暖房 (2014 年度)	1,510	2.5	46.4	0.0517	6.0
暖房 (2015 年度)	1,510	2.5	46.4	0.0517	6.0
暖房 (2016 年度)	1,510	0.5	46.4	0.0517	1.2
EMBL		164.3			389.0

#### 7.1.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は 0 である。

#### 7.1.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM<sub>BL</sub></i>	389.0 [t-CO <sub>2</sub> ]
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM<sub>Pj</sub></i>	230.4 [t-CO <sub>2</sub> ]
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0 [t-CO <sub>2</sub> ]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	<i>ER</i>	158 [t-CO <sub>2</sub> ]



## 7.2 岡崎店

### 7.2.1 事業実施後排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm <sup>3</sup> ]	単位発熱量 [GJ/千 Nm <sup>3</sup> ]	排出係数 [t-CO <sub>2</sub> /GJ]	CO <sub>2</sub> 排出量 [t-CO <sub>2</sub> ]
冷房 (2013 年度)	2,140	56.7	44	0.0517	129.0
冷房 (2014 年度)	2,140	48.4	46.4	0.0517	116.1
冷房 (2015 年度)	2,140	51.2	46.4	0.0517	122.8
冷房 (2016 年度)	2,140	65.8	46.4	0.0517	157.8
暖房 (2013 年度)	1,510	5.6	44	0.0517	12.7
暖房 (2014 年度)	1,510	11.6	46.4	0.0517	27.8
暖房 (2015 年度)	1,520	13.3	46.4	0.0517	31.9
暖房 (2016 年度)	300	4.1	46.4	0.0517	9.8
EMPj		256.7			607.9

### 7.2.2 ベースライン排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm <sup>3</sup> ]	単位発熱量 [GJ/千 Nm <sup>3</sup> ]	排出係数 [t-CO <sub>2</sub> /GJ]	CO <sub>2</sub> 排出量 [t-CO <sub>2</sub> ]
冷房 (2013 年度)	2,140	73.5	44	0.0517	167.2
冷房 (2014 年度)	2,140	73.5	46.4	0.0517	176.3
冷房 (2015 年度)	2,140	73.5	46.4	0.0517	176.3
冷房 (2016 年度)	2,140	73.5	46.4	0.0517	176.3
暖房 (2013 年度)	1,510	16.5	44	0.0517	37.5
暖房 (2014 年度)	1,510	16.5	46.4	0.0517	39.6
暖房 (2015 年度)	1,510	16.6	46.4	0.0517	39.8
暖房 (2016 年度)	1,510	3.3	46.4	0.0517	7.9
EMBL		346.9			820.9

### 7.2.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は 0 である。

### 7.2.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM<sub>BL</sub></i>	820.9 [t-CO <sub>2</sub> ]
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM<sub>Pj</sub></i>	607.9 [t-CO <sub>2</sub> ]
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0 [t-CO <sub>2</sub> ]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	<i>ER</i>	213 [t-CO <sub>2</sub> ]

7.1～7.2 より 2店舗の合計は、以下のようになる。

	BL 排出量 t CO2	PJ 排出量 t CO2	排出削減量 t CO2
①西春日井店	389.0	230.4	158
②岡崎店	820.9	607.9	213
合計	1209.9	838.3	371

## 8 省エネルギー量

### ①西春日井店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①-②)
190.8	113.0	77.8

### ②岡崎店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①-②)
402.8	298.0	104.8

省エネ量 (合計) = 182.6 (kl)

## 9 再生可能エネルギー利用量

該当なし